

## ことばの教室での「読み」の指導

浜松市立葵が丘小学校 通級指導教室（言語）担当

金原千晴

### 1 はじめに

### 2 子供の表れをどう見ればいいのか？（アセスメントの問題）

#### (1) アセスメントの数々

入級前：絵画語彙発達検査R【言語理解】 言語発達診断検査【言語表出】 文章の音読

（日常的質問 状況絵の説明 質問応答検査 認知検査）

指導時：MIM-PM 教科書の音読 見え方の確認 LCSA

#### (2) 「読み」に関わる問題

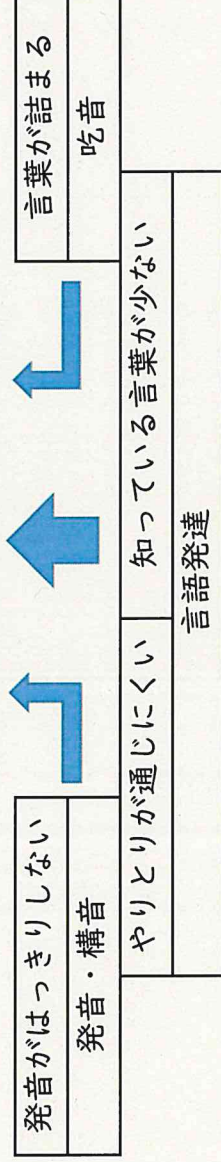
①たどたどしい。（逐次読み：文字を一つずつ音に変換している）	流暢性の問題
②読み飛ばしや読み誤りが多い。（勝手読み：単語や文の途中で知っている語や文と照合させて表出している）	
③単語のまとまりで読めず、途中で区切って読む。	
④どこを読んでいるのか目で追えない。	
⑤話のあらすじや文章の要点を読み取ることが難しい。	
	意味理解の問題

### 3 ことばの教室では、「読み」の何をどこまで目指せばいいのか？（課題設定の問題）

#### (1) ことばの教室での指導

☆楽しく会話できる子になってほしい☆

☆一人一人の言語に関する困りごとを改善する☆



#### (2) 自立活動の区分に即して考えると・・・ 6コミュニケーション

言語の受容と表出に関すること：話し言葉や各種の文字・記号等を用いて相手の意図を受け止めたり、自分の考えを伝えたりする

言語の形成と活用に関すること：コミュニケーションを通して、事物や現象、自己の行動等に対応した言語の概念の形成を図り、体系的な言語を身に付ける

⇒求めるべきは、流暢性だけでなく「読む」ことで相手の意図を受け止めたり知識を広げたり、語彙や文法体系の習得したりする過程を通じて、日本語での会話を楽しむ姿勢

(3) 挑戦してきたこと

①たどたどしい	平仮名カードの活用（絵と文字のマッチング・スピード読み・単語作り等） 単語カード（文字数を増やす・速さを求める・並べ替え等） 言葉探し（文字数の制限、音の制限・ランダムな文字の中から目標語を探す等） MIMの活用（絵に合う言葉、3つの言葉） 教科書にルビをふる
②読み飛ばし読み誤り	読み誤りやすい語に印・助詞に印・文末にマーカー等
③まとまりで読めない	文節の切れ目にスラッシュ・単語を囲む又はマーカー
④目で追えない	指でなぞりながら読む・補助具の活用・二行に渡るときの印付け 拡大資料（分かち書き・行間開ける） 書体の変更
⑤要点を読み取れない	文章中のキーワードに印・視覚情報の活用 機械や他者による読み上げ

4 本当の力にするためにどうすればいいの？（汎化の問題）

- ・繰り返し：パターンや教材を変えて工夫・・・子供の意欲が続かない。時間が足りない。
- ・保護者と協力：本人の教科書に加筆、宿題見届けを依頼・・・確認ができていない。保護者の状況も様々。
- ・担任と協力：指導内容を記録ファイルや電話で連絡。本読みの姿勢等困難を克服するための工夫について紹介。理解・協力の依頼・・・負担になる？
- ・本人の意識に訴える：成功体験の積み重ね「この工夫をすればできる！」